

競技注意事項

1. 規則について

本競技会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び本競技注意事項により実施する。

2. 競技場の入退場及び競技者受付について

- (1) 会場への入退場口は2階正面入口エントランスのみとする。
- (2) 開門時刻は7時40分とする。開門前に来場した者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。状況により競技者のアスリートビブスを受け取る指導者およびトラック、跳躍、投てきのそれぞれ第一種目に出場する競技者とその同伴者を優先的に入場させる場合がある。
- (3) アスリートビブス、プログラム、および指導者用リストバンド (ウォームアップエリア帯同) は各団体の代表者にまとめて配付する。
- (5) プログラムの記載事項（氏名、学年、所属等）に間違いがあった場合は、8時45分、または出場する競技の60分前までにTICに申し出ること。なお、プログラムには申込の際に送信されたデータをそのまま記載している。
- (6) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売する。（1部500円）

3. 新型コロナウイルス等感染拡大防止について（競技者及び来場者に関して）

- (1) 各自で日々の体調管理と感染予防に努めること。
- (2) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避けた行動を推奨する。
- (3) マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では着用を推奨する。
- (4) 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び快復後十分な時間が経過していない者、また発熱、咳嗽等の症状がある者は出場や観戦を取りやめること。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を励行すること。

4. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で行うことができる。（競技区域およびAゲート上からBゲート上までのホームストレート部分を除くスタンド裏の競技場プロムナード）
- (2) ウォーミングアップエリアに入場できるのは本競技会に参加する競技者（識別のためアスリートビブスをつけること。）およびリストバンド【受付時にTICにて配付されたもの：上記2(3)参照のこと】を装着した指導者のみとする。
- (3) ウォーミングアップのためグラウンド内へ移動する際は、Aゲートから入場すること。退場についてはA、Bどちらのゲートからでも可とする。競技区域は当該種目に出場する競技者以外立ち入りできないので注意すること。
- (4) ウォーミングアップには周回競技時を除きバックストレートを使用できる。（ハードル練習については下記参照）必ず指導者が監督し、逆走や走路にとどまることのないよう、安全に留意して行うこと。
- (5) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い（競技運営上、一時的に制限することがある。）、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。
- (6) ハードルの設置については以下のとおりとする。

8:00～9:20	80mH	ホームストレート	5～6レーン
	60mH	ホームストレート	7～8レーン

12:20～13:20 60mH バックストレート 5～6レーン

- (7) 砂場及び芝生でのウォーミングアップは禁止する。また競技場内、プロムナード、スタンド、中央広場において投てき物（ボール等）を投げるについても禁止する。

5. 招集について

- (1) 招集所は、100mスタート地点後方のAゲート付近に設置する。
- (2) 競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブス（ナンバーカード）をつけて集合すること。荷物はスパイク（使用する場合のみ）、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限とする。なお、トラック競技、フィールド競技とも競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場で行うこと。
- (3) 各競技の招集開始・完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。遅れた場合は競技に出場できないので、時間を厳守すること。
- (4) 代理人による招集は一切認めない。
- (5) 招集の際は、競技役員によるアスリートビブス、スパイクピンのチェックを受けること。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識（1枚）を受け取ること。
- (6) リレー競技に出場するチームは、（予選の場合は第1組の）招集完了時刻60分前までに（タイムテーブル参照）オーダー用紙（招集所にて配付の他、プログラム巻末に掲載のものも使用可。）を招集所の競技役員へ提出すること。提出が遅れた場合は受理せず、また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医師の判断が無ければ変更を認めないので注意すること。

6. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) アスリートビブス（ナンバーカード）は当日、受付にて各団体の指導者を通じて競技者1名につき2枚配付する。競技を行う際に着用するユニホームまたはTシャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめてつけること。ただし、跳躍競技の競技者については胸か背のどちらか一方でもよい。
- (2) トラック競技出場者（リレーは第4走者のみ）には、招集時に腰ナンバー標識（写真判定のために使用。ステッカータイプ）を配付するので、右側の腰の高い位置に記載の数字が身体の真横の位置となるよう注意してつけること。（上衣への貼付は不可。ランニングパンツやスパッツに装着のこと。）

7. 更衣室の利用について

- (1) 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定する。3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とする。
- (2) 更衣室への移動の際はスタンド正面入り口を入れて左側の階段を利用すること。
- (3) 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可する。

8. 競技および競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は、本部にて公正に抽選の上決定し、本競技会記録携帯速報サイトにて発表する。
- (3) 競技しやすい靴をはくこと。素足での出場は認めない。スパイクシューズを使用してもよいがピンの長さは全種目全天候性走路用9mm以下とする。なお、TR5.2の靴底の厚さに関する規定は、本競技会では適用しない。

- (4) 60m、60mHのスタートはクラウチングでもスタンディングでも構わない。それ以外の100mまでのトラック競技ではクラウチングスタートのみとする。スターティングブロックは男女とも5年100m、6年100m、4×100mリレーの決勝のみ使用を認める。使用する場合は、セッティングを速やかに行うこと。また800mのスタートは、スタンディングのみとする。
- (5) スタートに関するルールは昨年度の全国大会に準じる。スタート動作の指示は英語で行い、同一競技者が2回不正スタートした場合は失格とするが競技には参加させ、記録は参考記録とする。
- (6) ハードル競技は以下の規格により行う。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
60mH	12m	600mm	6m	7台	12m
80mH	13m	700mm	7m	9台	11m

- (7) 800m以外のトラック競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走り他のレーンに入らないよう注意すること。
- (8) 800mのスタートは、オープンで行う。
- (9) 男女混合4×100mリレーは、5・6年男女各2～3名でエントリーを行いそのうちの男女各2名でチームを編成すること。なお、走順は自由とする。
- (10) リレーチームは申込時のメンバーで編成すること（TR24.10は適用しない）。
- (11) リレー競技の第1～3走の競技者は危険防止のためバトンパス完了後、競技役員の指示があるまで自チームのテイクオーバーゾーン内に留まること。また、マークテープは各チームで用意し、レース後必ず取り外すこと。
- (12) リレーチームはできるだけ同じユニホームを着用のこと。
- (13) 5年100m、6年100m、4×100mリレーは予選の上位記録8名（チーム）が決勝に進出する。同記録がありレーンが不足するときは写真判定主任が1/1000秒で順位を判定し、それでも決まらないときは抽選を行う。その際は場内アナウンスで対象者を呼び出すので速やかに本部に来ること。指定された時刻までに来なかった場合はその権利を放棄したものとする。800mはタイムレースで順位を決定する。
- (14) コンバインド競技について
- ① コンバインドの競技は以下の順で行う。
 コンバインドA（80mH、走高跳）
 コンバインドB（走幅跳、ジャベリックボール投）
 男子コンバインドC（60m、走幅跳）、女子コンバインドC（走幅跳、60m）
 コンバインドD（ジャベリックボール投、60mH）
 - ② 5・6年生コンバインドの各種目の得点は『JAAF小学生コンバインド種目得点表（2022年度改訂版）』により集計する。（男女共通）
 ※同得点表PDF版は下記（日本陸連 HP）よりダウンロードが可能
https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202204/06_103437.pdf
 - ③ 3，4年生コンバインドの各種目の得点は『東京陸上競技協会小学生コンバインド得点表』により集計する。
 - ④ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
 - ⑤ 最初の種目でスタートまたは試技を行わなかった場合は欠場となり2つ目の種目には出場できない。また、2種目を欠場した場合、最終順位はつかない。
 - ⑥ スタートまたは試技を行い、途中棄権、記録無し、失格および参考記録（80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）の場合、得点は0点とする。

- ⑦ 1種目目に出場し、途中棄権、記録無し、失格、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ⑧ 1種目目、2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権、記録無し、失格、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- ⑨ 2種目の合計得点で順位を決定するものとし、合計得点が同点の場合は同順位とする。
 なお、コンバインドA及びBで第1位が同点の場合、全国大会の東京都代表選手はその趣旨に準じ、どちらか1種目の得点の高い選手ではなく、2種目の得点がほぼ同じで、平均的に力を有した選手を選考する。それでも決まらない場合は大会本部で抽選を行って決定する。該当者が指定された時刻までに抽選に来なかった場合は、その権利を放棄したものとみなす。
- ⑩ コンバインド競技のレーン順・試技順は、プログラムに記載のとおりとする。
- ⑪ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技となる。
- ⑫ 走高跳の最初の高さは男女とも90cmとする。自分が申告した高さから試技を開始し、続けて2回失敗した時点で終了とする。
- ⑬ 走高跳のバーの上げ方

練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
0m90	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	+3cm

- ⑭ 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- ⑮ ジャベリックボール投の2回の試技は連続して行う。
- ⑯ ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき物の着地場所の範囲の角度もやり投と同じとし、助走距離は15m以内とする。スパイクを使用してもよい。
- ⑰ ジャベリックボール投の試技はボール本体を持ち、オーバーハンドスローで行うこと。
 ※羽だけを持って投げることは禁止する。
- ⑱ 競技会で使用する（練習も含む）用器具は、すべて主催者が用意したものとす。

9. 競技区域からの退場について

- (1) 競技区域から退場する際、競技役員の手示がある場合にはそれに従うこと。
 ホームストレート側の屋内廊下の通行を可とするが、ホームストレート側ダッグアウト下通路の通行は競技役員の手同がない限り原則として不可とする。
- (2) 退場する際は忘れ物や他者の持ち物との取り違えがないよう、荷物を確認すること。
- (3) 退場はA、B、どちらのゲートからでも可とする。
- (4) フィールド競技終了後は競技役員の手示に従って退場すること。

10. 抗議について

競技の結果または競技進行中に受けた裁定に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンで正式発表されてから30分以内、次のラウンドが行われる場合は15分以内に、コンバインド種目については2種目目は30分以内、1種目目は15分以内にチームの公式な代表者がTICに申し立てること。

11. 表彰について

- (1) 各種目の1～3位の競技者を対象に、概ね競技終了から30分後を目安に表彰式を行うので、該当者はメインスタンド正面下の待機場所に集合すること。
- (2) 各種目第1位～第8位に賞状を授与する。
- (3) コンバインドA、コンバインドB、5年100m、6年100m、4×100mリレーの1位～3位にはメダルを授与する。

- (4) コンバインドC、Dについては最終順位がついた競技者を対象に、コンバインドC、Dを構成する各種目の第1位～第8位に賞状を授与する。ただし、表彰の実施は総合得点における1～3位のみとする。
- (5) 4～8位の競技者の賞状はすべて順位確定から30分後以降にTICに用意する。

12. 日清食品カップ 第39回全国小学生陸上競技交流大会東京都代表について

次の種目の優勝者を、2023年9月16日(土)～17日(日)、神奈川・日産スタジアムにて開催が予定されている「日清食品カップ第39回全国小学生陸上競技交流大会」に派遣する。

【男女共通】 [5年] 100m、[6年] 100m

[5・6年] コンバインドA (80mH、走高跳)

コンバインドB (走幅跳、ジャベリックボール投)

【男女混合】 [5・6年] 4×100mリレー

該当者は競技終了後、東京陸協普及育成部の指示に従って全国大会出場の手続きを行う。

ただし、男女混合リレーについては構成メンバーのうち1名でも他種目にまわった場合、全国大会への出場資格を失う。また、優勝者が下記のいずれかに該当する場合は派遣を見送り、2位以下の者を順次繰り上げて全国大会に派遣する。

- ①本競技会の出場資格、出場制限に違反している者。
- ②本年度に開催された東京陸協主催・主管競技会及び他道府県陸協主催競技会に、一家転住及びクラブの解散等特別の事由もなく、本競技会と異なるクラブ(所属)で出場した者。

13. その他

- (1) 競技中の事故における怪我については主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意すること。
- (3) 記録証は1枚300円で発行する。希望者は16時までにTICへ申し出ること。
- (4) 届けられた拾得物については、TICにて競技会終了時まで保管する。
- (5) 大会運営、競技に関する不明な点はTICへ問い合わせること。
- (6) 本競技会において、競技中の助言(指導)は、禁止する。
- (7) 盗難等の防止のため、更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かず各自が責任を持って管理すること。
- (8) 記録はその都度、アナウンス、大型スクリーン及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (9) 競技場は、大切にきれいに使用すること。
- (10) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ること。(競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てないこと。)

日清食品カップ東京都小学生陸上競技交流大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm> QRコードもご利用ください。



競技会コード：23130010

競技場コード：132090